

県生活体験発表会で最優秀賞

令和2年度茨城県高等学校定時制通信制生徒生活体験発表会が行われました。その結果、本校通信制3年生の間宮小遥さんが、参加20名の中で最優秀賞に輝きました。正式には「茨城県知事賞及び茨城県定通教育振興会会長賞」をいただきました。今年度の大会運営は、新型コロナウイルス感染症対策のため、原稿の審査となりました。今回、茨城県代表となり、全国大会での原稿審査に進みます。全国大会でも評価を受けることを期待しています。

平成12年度から昨年度までの20年間で、本校から最優秀賞に選ばれたのは1度です。平成28年度に、夜間制の生徒が県代表になっています。この通信の第9号で夜間制、第10号で昼間制、第14号で通信制の校内の発表会を紹介しています。定通教育において、「自分の体験を真剣に話す」貴重な行事です。

「勇気の出どころ」

水戸南高通信制3年 ^{ま みや}間宮 ^{こ はる}小遥

私は小学生の頃から対人関係を育むのが苦手でした。自分のことに精一杯で、相手を思いやった行動がとれなかったために、いつしか陰口を言われるようになりました。その経験が忘れられず、また同じ失敗を繰り返してしまうのではないかと考えるようになり、人と話そうとすると身構えて、うまく話せなくなってしまいました。中学一年生の九月、私はとうとう教室に入れなくなりました。

友人の中には私を心配して、わざわざ保健室まで顔を見にきてくれた人もいました。母も仕事で忙しいというのに、毎日、学校まで送ってくれました。それでも、私にとって教室は怖い場所でしかなく、卒業式の当日まで教室に入っていくことができませんでした。

環境が変われば教室に行くことができるかもしれない、そう思い、全日制の高校に入学して一年間生活をしましたが、結局、人の目が気になり、過去にあったことを思い出して耐え切れなくなり、頻繁に保健室で過ごすようになりました。

教室に行くことができない日々の中で、私は学生なのに、学校は学ぶために通う場所なのに、どうして目的を果たせないで、過去のことでばかり考えて自分は苦しんでいるのだろうか、そんな悶々とした気持ちで毎日を過ごしていました。このままでいたくはない、変わりたいと強く思っていたとき、ふと、テレビで通信制高校の特集が組まれていたことを思い出したのです。通信制高校ならば大勢の目を気にせず、勉強だけに集中し、将来のことだけを考えられるのではないかと思い、水戸南高校通信制へ転入することに決めました。

対人関係の悩みは簡単に解消できるものではない、と私は思っています。しかし、幾ら人と関わるのが怖いとはいっても、ずっと一人で生きていく未来は考えただけでぞっとします。そんな未来にならないよう、私は対人関係への苦手意識に対する悩みと正面から向き合って、克服していきたいと考えました。勇気は誰かに与えてもらうものではなく、自分で身につけるものだと言い聞かせ、最初のスクーリングに行く決心をしました。

すると、身構えていたことを忘れてしまうくらい、穏やかな時間を過ごすことができました。通信制高校の近すぎない、だからといって遠すぎない、そんな人間関係の距離感が居心地のよさを生み出してくれていたのです。その居心地の良さに救われながら、同じ失敗をするからといって諦めたりせず、気持ちを落ち着かせて周りをよく見るよう心がけました。すると、近くの席のクラスメイトが落ち込んだ友人を和ませている、そんな光景を目にしました。何気ない会話がとても素敵に思えて、私も彼女のように周りの人たちに気を遣えるだけの余裕が欲しいなと思えました。

そんな思いを抱えながら登校した数回目のスクーリングの日、筆記用具を忘れて困っているクラスメイトに自分から声をかけて物を貸してあげることができました。彼女の感謝の言葉や笑顔は緊張して固まっていた私の心を、優しく溶かしてくれました。

他の人にとってそんなことは些細なことかもしれませんが。けれど常に人前で身構えてしまう私には、どんなに些細なことでも勇気があることなのです。前に踏み出せたことは、私にとって大きな一歩でした。全てに余裕がなく、自分のことばかり優先していた私は、このままずっと他の人の心に目を向けられないまま生きていくのではないかと、思っていたのです。

けれど、自分は前進している。自分のためだけでなく、誰かのために動くことができる。そのとき私に向けられた彼女の笑顔を思い返すと、再び自信や勇気がわいてきて、あまり身構えることなく、少しずつですが、人と話をするできるようになりました。

最近、私は勉強をするためだけでなく、生きる勇気を身につけるために、水戸南高校を選んだのだと思っています。

自分の椅子に座り、そこから教壇に立つ先生や黒板に目をやる。クラスメイトと些細なことを話す。他の人にとって当たり前のことを、今は、自分の当たり前にすることができつつあります。そしてそれがとても嬉しくて、今では、登校日を楽しみに待っているほどです。

私はこの二年間で、心に余裕ができ、自分のことだけでなく、周りの人たちに気を配ることができるようになりました。以前よりも正直な気持ちで相手と向き合えている気がしています。

私は三ヶ年での卒業を希望しているので、この水戸南高校に通えるのもあと約五ヶ月です。残りの学校生活では、自分の中で育ちつつある勇気を持って、積極的にクラスメイトとコミュニケーションをとりながら、対人関係に対する苦手意識を克服していきたいと思っています。